

3面からの続き

魅力ある県立高校づくりについて

まちづくりの視点でビジョンを示し、関係部局と連携を

この質問は、宇田川ゆきおが八潮市議1期目の時の課題を基に質問を組み立てました。社会情勢の変化により、埼玉県内にある県立高校の統廃合の問題が議論されてくるといいます。その場合、統廃合して新設にするのか、大規模改修なのか、また、私立高校にするのか、インターナショナルスクールにするのか、地域に必要な施設になるように「質的担保」が必要です。ランドマークとして地域に活力を生み出すように、大きな視点で議論をするべきであり、マーケティングを含めながら説得力のある提案を



県議団の仲間たちと赤い羽根共同募金



すべきと主張しました。

答弁では、対象校の伝統や社会のニーズを踏まえ学校関係者や地元の意見を聞き、基本計画を策定するとのことでしたが、宇田川ゆきおとしては初動の段階でいかに綿密で明確なビジョンとタイムスケジュールを提示することができるかが重要であると考えており、関係部局が連携して、県立高校と地元が一体となって、より魅力あるまちづくりに繋がるように進めてまいります。

宇田川ゆきおはこの他にも、**児童相談所における歯科医師の配置について**(福祉部長)、**信号機における5Gの基地局について**(警察本部長)の質問をしています。詳細は埼玉県議会のホームページからご覧いただけます。(埼玉県議会のホームページ) www.pref.saitama.lg.jp/s-gikai/

【一般質問を終えて...】

この度の一般質問は、新しい知事となって初めての議会でしたので、知事選での公約や、私がこれまで取り組んできた課題、地元の問題について多岐にわたり質問をいたしました。私が、質問や政策を立案するときに大切にしていることがあります。それは、少数意見に耳を傾けることです。私はこれまでの経験から、少数の意見にこそ本質についている場合があることを実感しています。また、政策や条例の隙間で取りこぼされてしまっている方がでないように細心の注意を払っています。今、いただいている福祉保健医療委員会の委員長という立場をしっかりと認識しながら、本質を見極めて、専門性を高めるために今後も研鑽を積んでまいります。より深化した提案で、真に助けが必要な方々に、十分な支援がいきわたるように、職責を全うしていかねばならないと身が引き締まる思いです。明確で本質を貫く質問をこれからも心がけ、皆様のお力になれるよう全身全霊を捧げてまいりますので、引き続きのご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

宇田川ゆきおコラム vol.1

【ランドセル】

私が小学生の頃は、赤と黒ばかりだったランドセル…。今や、色も豊富で、自宅の前を通る小学生も色とりどりのランドセルを背負って通学しています。

早いもので、私の息子も来年から小学生です。春頃に妻から「ランドセルはどうするの?」と聞かれ、「来年の話だから気が早いのでは…」と応えたら、「いまは全然違う」と言われてしまいました。ランドセル商戦は活況のようで、5月のゴールデンウィークから目星をつけ注文しないと翌年の入学式に間に合わないようです。時代も変わったものです。

子どもたちが大人になったときは、今よりもさらに情報が早くなり、社会の構

造の変化も著しくなるでしょう。思い返せば、小学生の頃、私が口酸っぱく言われてきたのが「予習が大事」、つまり事前の準備、情報収集が大切ということです。

県議になって子育ての政策をつくるようになって、助産師や保健師の方々から産前産後ケアについて学ぶようになりました。結婚当初から学んでいけば、妻への負担も少なく、もっと夫婦で理解しあいながら子育てができたのではないかと感じています。子育てでは、予習が少し足りなかったかなと反省しています。今からでも遅くないと思っていますので、しっかりと予習をして、子どもたちのランドセルの中に、多くの夢と希望を入れてあげられるように、よりよい政策づくりにこれからも研鑽を積んでまいります。



【宇田川ゆきお・経歴】 昭和53年八潮市八條生まれ 八潮市立八條中学校卒業 浦和実業学園高等学校卒業 東京コミュニケーションアート専門学校卒業 - 音楽の道へ 八潮市議会議員選挙にて初当選 専修大

学法学部中退 平成21年、八潮市議会議員選挙にて二期目当選 平成27年、埼玉県議会議員選挙にて初当選 平成31年埼玉県議会議員選挙にて二期目当選 県議会・福祉保健医療委員長・文教副委員長、自然再

生・循環社会対策特別委員、決算特別委員 所属団体:八潮市商工会青年部OB会、八潮市消防団、八條有志クラブ他 www.udagawayukio.com/



ご意見をお寄せ下さい

宇田川ゆきお県政事務所

〒340-0801 埼玉県八潮市八條393 TEL.048-932-4055 FAX.048-934-7099 E-mail:contact@udagawayukio.com

情熱 責任 真摯 覚悟 埼玉県議会議員 宇田川 ゆきお 県政報告

令和元年 11月9日発行 11月号 Vol.13

発行:埼玉県議会自由民主党議員団 宇田川ゆきお県政事務所 〒340-0801 埼玉県八潮市八條393 TEL.048-932-4055 FAX.048-934-7099

Top Report

宇田川ゆきお県議 福祉保健医療委員長に就任。～社会福祉の向上へ積極果敢に挑戦!～



一日ごとに秋の色が濃くなってまいりました。日頃から皆様にはご支持、ご支援をいただき厚く感謝申し上げます。

本年4月に執行されました統一地方選挙において再選させていただき、これを機に埼玉県そして八潮市の限りない発展へ向けて、皆様の期待に応えて参ります。

また、天皇陛下のご即位により、5月1日からは「令和」の時代となり、昭和・平成・令和をつなぐ基礎的自治体のまちづくりをさらに具体的に進展させるべく、決意を新たにしております。

台風・豪雨・暴風被害…。「安全・安心」に向け、総合的な施策を推進

まちづくりの概念の中で最も基本的なことに挙げられるのは市民の「安心・安全」をどのように担保していくかという問題です。つまり、日常の市民生活が平穏で快適なものになるように、総合的な施策の推進が求められている

のです。 今年は台風15号、19号、21号が連続して襲来し、風雨による大きな被害が生じてしまいました。改めて被災者の皆様には心からお見舞いを申し上げます。

地域の地勢・地理的条件は変えることができません。八潮市は中川、綾瀬川などの川に囲まれた中川低地にあります。人々は有史以来、「水」との戦いを繰り返してきました。農業用水を担保するための「水」と、低地であることに起因する水害対策の「水」の両面での戦いです。



テレビさいたま荒木アナウンサーからインタビュー

Contents
1・2面…… Top Report 宇田川委員長、抱負を語る
2・3・4面… 9月定例会、宇田川ゆきお県議の一般質問
4面……… 宇田川ゆきおコラム (Vol.1)

福祉保健医療委員会のテレビ中継



このことは八潮市立資料館に各種史料が残されていますが、八潮の昔話にも伝えられています。第17話の「蛇橋」の中では、綾瀬川の氾濫をめぐる歴史悲話が残されています。現在では土木技術が進化し、綾瀬川の治水対策も用水整備などにより、安全度を高めてまいりました。

【2面に続く】

「台風の被害に遭われた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。」

